

公益社団法人 酒々井町シルバー人材センター
平成28年度事業報告

1、総括

平成28年度、政府は『1億総活躍社会の実現に取り組み、成長と分配の好循環を創り上げてゆく』として、官製春闘ともいわれる4年目の今年も民間企業に賃上げを求めましたが結果は前年割れが続出したとのことです。

また、「同一労働同一賃金」を柱とする「働き方改革」の主婦向けアンケートでは、「期待していない」との回答が半数近くを占め、働く意欲のある主婦は冷静に受け止めているとのことです。

一方、地域社会においては、団塊の世代の殆どが高齢者世代となり、高齢者人口の増加とともに、働く意欲のある高齢者も増加してきております。

こうした中、当センターは、発足9年目を迎え、会員数は、148名となりました。

また、平成28年度受託事業実績は77,859千円（前年度比12%増）となり、第1次中期計画を大幅に上回る成果が得られ、計画の最終年度を締めくくることが出来ました。

このことは、町民の皆様をはじめ、お客様のご理解、ご信頼を頂くとともに、町当局のご指導と会員各位の日頃の努力の賜物であります。

関係の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、昨年8月から9月にかけて、平成25年度に引き続き「住民意識調査」を実施しました。

今回も苦言、苦情、感謝、激励等さまざまなご意見が寄せられた中、約8割の方がシルバー人材センターをご存知でありながら、仕事の内容や料金などが良くわからないという方が意外に多く、当センターとしては、今後の反省材料にしたいと考えます。

また、昨年10月から11月には、前年度に続いて地域班会議・懇親会を開催し、貴重な疑問点や要望等、活発な意見交換の場になったところです。

平成30年度は、当センター発足10周年になることから、記念事業の実施を予定しております。

現在、担当理事を中心に、その準備を進めているところです。

また、本年度で第1次中期計画が終了し、平成29年度から第2次中期計画（平成29年度から平成31年度）を推進することとなりますが当センターとしては「生涯現役社会」を見据えた現役サポート事業や介護予防・日常生活支援サービス及び空き家対策等を念頭に次期計画を策定し、今後の指針としたところです。

このようなことを踏まえ、当センターは、町民の皆様と一体となったシルバー人材センターとして、活動の展開に努めてまいります。

2、会員の拡大

平成28年度の会員数は160名を目標にスタートし、会員の口コミ、チラシの配布、町広報誌等の有効活用により、PRを積極的に進めてまいりました。

今年度の、新規入会者は8名、退会者は10名であり、3月末現在では、148名（男性118名 女性30名 年度当初比2名減）の会員数となり目標数には達しませんでした。

また、当センターの会員平均年齢は72.3歳（男性72.4歳、女性71.9歳）となっております。

全国的にシルバー人材センターの会員数が伸び悩む中、当センターは、昨年度まで順調に会員の確保をしてまいりましたが、高齢者雇用安定法による定年延長や各種年金の受給年齢引き上げ等が今年度会員確保のマイナス要因となりました。

しかし、このような状況下ではありますが、当センターの受託事業数は、来年度も増加が見込まれることから、新規会員の拡大は重要課題となりますので、来年度も積極的な募集活動を行い、会員の拡大に一層尽力してまいります。

個別の活動結果は次のとおりです。

（1）会員募集

①チラシ配布

- ・ふるさと祭り会場でのチラシの配布（11月19～20日 約1,000枚）。
- ・千葉氏祭り会場でのチラシの配布（10月2日 約500枚）。
- ・事務局員による町内全地域へのポストイン。
（1月～3月約5,800枚）
- ・仕事先周辺家庭への作業実施会員によるポストイン。

②町広報誌「ニューしすい」（6回）及び「社協しすい」（4回）でのPR。

③町行事への参加、盛年式でのブース展示と来訪者への説明（11月13日）。

④シルバー軽トラックに会員募集のマグネット板の常時掲示。

（2）女子会員の拡大

今年度女性の入会者は2名、退会者は2名でした（会員数は前年度比±0）。

11月に初めての女性懇談会を開催（参加者9名）し、女性会員のシルバーに対する意見交換会の機会を持ちました。

来年度も女性懇談会を開催し、女性入会者の拡大に活用してまいります。

（3）班会議等の開催

昨年度に引き続き、10月～11月に掛けて、各班別会議を開催しました（延べ5回、参加者51名）。

開催日の都合により、昨年度より参加者は減少しましたが、独自の催しを開催するなど積極的に取り組む班もありました。

来年度に向けてのセンター運営・会員拡大の参考となる意見や要望等を話せる機会の場となりました。

また、会議終了後の懇親会では、会員相互の親密なコミュニケーションを図ることが出来ました。これにより会員の定着化や口コミによる新規会員の勧誘につながる行事となりましたので、来年度も実施してまいります。

(4) ボランティア活動の実施

町や町民の皆様へ感謝とシルバー人材センターの認知度向上等の意味を込めて、京成酒々井駅・JR 酒々井駅ロータリーの清掃及びさわやか通り等の清掃を12月27日に会員（16名）の協力による、ボランティア活動を実施いたしました。

来年度もシルバー人材センター活動の重要な位置づけとして、積極的にボランティア活動を実践してまいります。

(5) 親睦会の実施

全会員対象の、親善パークゴルフ大会を3月25日に11名の方の参加を頂き、開催いたしました。

日頃、顔を合わすことの少ない会員同士の交流と親睦が図られました。

来年度も親睦会を企画しますので、会員の参加を期待しております。

(6) 千葉氏祭り及びふるさと祭りへの参加

会員のご協力を得まして、千葉氏祭り（10月2日）・ふるさと祭り（11月19日～20日）に参加し、焼きそば、手作り品、コーヒー等の販売を行いました。

併せて、当センターのチラシ配布と説明会を行いました。

(7) 広報誌の発行

会報誌「酒々井しるばー」を1月と7月に発行、「シルバーだより」を4月と10月に発行し、会員及び関連部署への情報提供に努めてまいりました。

(8) ユニフォーム・帽子等の着用

会員の自尊意識の高揚と働く会員の姿を住民の皆様方に見て頂くことで、人材センターのPR活動に繋がるため、来年度も着用を実践してまいります。

3、受託事業の拡大

受託事業は、政府の掲げる『1億総活躍社会』の実現を背景とし、また、会員各位の努力により、順調な伸びを示しております。

平成28年度の事業実績は、受託金額・受託件数ともに、平成27年度を大幅に上回ることができました。

なお、受託事業実績及び活動内容は、次のとおりです。

(1) 受託事業実績

受託金額	77,859 千円	(前年比 + 8,327千円)
受託件数	1,495 件	(前年比 + 177件)
派遣金額	100 千円	(前年比 - 629千円)

(2) 町委託事業

委託事業は、増加傾向にあります。今年度の新規事業の受託はありませんでした。

新たに、酒々井小学校スクールバス運転業務を派遣事業として来年度実施する見込みとなりました。

なお、来年度は町当局と協同作業による『空き家対策事業』『介護予防・日常生活支援事業』等の事業拡大の推進に努めてまいります。

(3) 福祉・家事援助・生活支援サービス事業

日常生活の中で、ちょっとした困りごとに対応した、軽作業サービス事業（30分以内/500円）の利用は数件にとどまっています。来年度も、チラシ等でのPRを強化し、利用率の向上に努めてまいります。

(4) 一般家庭受託事業

会員の努力と町広報誌・チラシの配布・口コミ等の効果により、剪定・草刈り等の受注件数も順調に伸びたことが業績の向上につながりました。引き続き、来年度も新規受託件数の拡大のため、お客様満足度調査結果等のご意見を参考にして努力してまいります。

(5) 自主事業

町補助金事業の『荒廃地環境保全協働事業』は、平成28年度で終了しました。

来年度は、当センター会員の有志による農業体験クラブを立ち上げ、景観の維持と趣味と実益を兼ねた農作物の栽培に挑戦してまいります。

また、町イベント事業の「ふるさと祭り」及び「千葉氏まつり」にも参加し、焼きそば・コーヒー・手芸品等の販売とチラシの配布により、当センターのPRと会員の募集活動を行ってまいりました。

(6) 公平な就業機会の提供

会員の業務の公平化を推進するため、新規会員及び会員同士のローテーション等による就業機会の公平化に努めてまいりました。

(7) 派遣事業

大室台小学校学童保育「大ちゃん学童クラブ保育補助員派遣業務」を受託しましたが、お客様の都合により、短期間で終了しました。

4、適正就業と安全就業対策の推進

会員が自らの健康維持と安全の確保を図りながら、仕事を適正かつ安全に遂行ができるように、次の活動を行いました。

(1) 事故発生状況の報告

今年度の事故発生状況は、人身事故2件、物損事故4件の計6件の事故がありました。

(2) 安全・適正就業委員会の開催

委員会は、毎月開催し「全国及び千葉県のシルバー人材センターの事故状況」や「他のシルバー人材センターの安全取組」等の参考事例を検証するとともに、作業現場での不安全要素の発掘・発見の方法等の具体的事例の公表を行いました。

また、当センターでの事故発生時の状況を詳細に検討・分析し、安全ニュース(3回/年)として、当センターの会員に資料を配布し、安全意識の喚起を図りました。

(3) 安全講習会等の開催

① 4月27日、5月17日

植木の剪定・伐採、草刈り、集草作業に伴う、安全対策講習会を開催
(参加者：51名)

② 4月27日 高齢者の交通安全講話を開催
講師：佐倉警察署員 (参加者：33名)

③ 5月17日 高齢者の健康管理と熱中症予防講話の開催
講師：町保健センター職員 (参加者：22名)

④ 安全パトロールの実施
安全就業委員による安全パトロールを5回/年実施し、安全作業の確認に努めました。

5、研修の充実

会員の就業上必要な知識・技能の向上を図るため講習会を開催し、知識・技能の研鑽に努めました。

(1) 技能講習会の開催(実技等)

① 草刈り講習会の実施

- ・ 4月27日 町総合公園にて、実技講習会を開催。 (参加者：29名)
- ・ 5月18日 町生涯生活センターにて、講話と実技講習会を開催。
(参加者：7名)
- ・ 5月23日 町総合公園にて、実技講習会を開催。 (参加者：1名)
- ・ 9月14日 // (参加者：2名)

受講者総数 39名

② 剪定講習会の実施

- ・ 2月21日 町生涯生活センターにて、講義（剪定入門コース）を開催。
（参加者：10名）

③ 剪定講習実技の開催（マンツーマン方式）

- 3月7日、9日、11日、22日の4日間
町総合公園・コミュニティプラザにて、開催（参加者：45名）

④ 学校ボランティア剪定の開催

- 2月、25日、26日 酒々井小学校にて（参加者：30名）

⑤ 研修会・講習会の充実

- 刈払機取扱者指導員として、6名を当センター認定指導員に選任いたしました。

6、センター運営の強化

当センターが実施した調査結果（お客様満足度調査・住民意識調査）における住民からのご意見・ご要望等を反映した、センター運営に努めてまいりました。

来年度は、会員意識調査を実施致しますので、会員各位のご意見・ご要望等を集約し、センター運営に反映ができるよう努力してまいります。

これからも、町民の皆様又会員の皆様方から信頼される事務局を目指してまいります。

(1) 研修会の参加

役職員の資質向上を目的として、県シ連等の主催する各種研修会・講習会に参加し、センター運営の充実・強化に努めてまいりました。

来年度は、新規事業の導入に伴う、チームリーダー育成の研修会等への参加を検討してまいります。

(2) 地域班の活用

全会員への伝達方法として、酒々井しるばー・シルバーだより等の配布及び地域班会議の日程調整等を班長・副班長の協力により、会員間の調整役をお願いしてまいりました。

来年度は、センター運営への提案や親睦、ボランティア活動等の実践ができる地域班づくりに努めてまいります。

7、普及啓発活動の充実

(1) インターネット（ホームページ）の活用

ホームページの内容の充実を図り、閲覧者が見やすく、活用をしやすいするため、適切な運営管理に努めてまいりました。

また、業務及び財務等の情報公開についても、積極的に取り組んでまいりました。

(2) チラシ及び広報誌等の活用

高齢化社会に向けた介護予防・日常生活支援事業等に対する人材確保及び町スクールバス運転業務の新規事業導入に対応した人材確保のため、チラシ及び広報誌等を有効に活用してまいりました。

(3) 社会参加活動の推進

町主催の、ふるさと祭り・千葉氏祭り・盛年式等のイベントに例年通り参加し、当センターのPRと町民とのふれあいの場を設けてまいりました。

8、第2次中期計画の策定

当センターの行動指針となります、第2次中期計画（平成29年4月～平成32年3月）を12月に策定しました。

9、調査研究

今回実施した、第2回住民意識調査の対象者数等は、次のとおりとなりました。

なお、会員各位には、すでに調査結果の概要を配布しておりますので、参考として頂き、町民の皆様方のご意見・ご要望等の負託に添えて頂くとともに、事務局員も人材センター運営の強化に反映してまいります。

- ・住民意識調査の実施期間（平成28年8月～9月）
- ・調査対象世帯数・・・962世帯（町内全体の約10%）
- ・回収率・・・27.1%（261件/962件）

10、相談・情報提供等

(1) 入会説明会

加入希望者を対象に入会説明会（原則毎月第2月曜日）を開催し、入会希望者に対する相談や情報の提供に対応してまいりました。

(2) 職業紹介事業

県連合会や関連機関と連携し、町民や会員に対する雇用・就業等の相談・情報の提供の場を設けてまいりましたが、希望者等がなく成果はありませんでした。

(3) 情報公開

次の情報提供は、センター内での閲覧と共にインターネット（ホームページ）で行ってまいりました。

- ①事業計画。
- ②事業報告及び決算報告。
- ③研修会・講習会等への参加者募集。
- ④調査研究結果の報告。

1 1、設立10周年記念事業準備委員会の立ち上げ

当センターは、平成30年度に10周年を迎えることから、設立10周年記念事業準備委員会を立ち上げました。

なお、準備委員会は、記念誌発行委員とフェスティバル実行委員に分かれ事業の成功に向け努力してまいりますので、会員各位のご協力をお願いします。

以上